



埼玉県マスコット「コバトン」

第6回

# 埼玉農業大賞表彰式

と き：平成 27 年 11 月 14 日(土)

と ころ：SKIPシティ

Saitama Agricultural Awards



— 埼玉県 —



# 目 次

1	埼玉農業大賞について	1
2	選考経過報告	2
3	埼玉農業大賞受賞者	3
4	埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門受賞者紹介	4
	有限会社志木フラワー	5
	有限会社大野農場	6
5	埼玉農業大賞 地域貢献部門受賞者紹介	7
	横瀬町茶業組合	8
	花のプリンス倶楽部	9
	農事組合法人集楽営農大串	10
	上里町果樹栽培出荷組合連合会	11



本日、第6回埼玉農業大賞を受賞される皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組み、埼玉農業の振興や地域活性化に貢献された方々の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、本県農業を持続的に発展させていくことを目的にしています。

このたび受賞された皆様の農業経営に対する並々ならぬ熱意とたゆまぬ努力に対し、深く敬意を表します。

農業の発展には「労働」、「資本」、「技術」の3つが重要とされています。本県の農業は、優れた担い手、肥沃な農地、先進的な技術の3つの要件を備えています。

さらに、約4,300万人の消費者を擁する首都圏に位置し、ヒトとモノが容易に移動できる交通の要衝であり、多数の食品関連企業が立地するという大きな強みを持っています。

こうした条件を生かし、農業産出額が全国第5位の花き、第6位の野菜をはじめ、米、麦類、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されるとともに、近年では、これらの農畜産物を自らが加工・販売する農業の6次産業化の取組が盛んに行われています。また、埼玉での農業経営を志す新規就農者や農業参入企業も増加しています。

本県の農業は非常に勢いがあります。10月31日には圏央道の県内区間が全線開通しました。これにより、本県のポテンシャルが飛躍的に高まり、産業集積に弾みがつくことが期待できます。私は今後とも、埼玉農業が成長産業として発展するよう、全力で取り組んでまいります。

このたび受賞されました皆様には、優れた技術や経営能力を存分に発揮していただき、引き続き埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年11月14日

**埼玉県知事 上田清司**



# 1 埼玉農業大賞について

## (1) 趣旨

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営や地域農業の振興に優れた功績を上げている農業者に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

## (2) 表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体とし、埼玉農業大賞に、農業ベンチャー部門および地域貢献部門を設けています。

表彰は、農業ベンチャー部門および地域貢献部門で、最も優秀な者それぞれ1点以内を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ3点以内を優秀賞として賞します。

## (3) 主催

埼玉県

## (4) 後援

埼玉県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部、  
埼玉県信用農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部、  
埼玉県農業会議、公益社団法人埼玉県農林公社、一般社団法人埼玉県畜産会

## (5) 特別協賛

J Aグループさいたま  
株式会社協同商事コエドブルワリー、株式会社ひびき、  
弓削多醤油株式会社、お菓子な郷推進協議会

## 2 選考経過報告

### (1) 募集

農林部地域機関、市町村等の長に対し、平成27年5月27日（水）から平成27年7月7日（火）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、農業ベンチャー部門5点、地域貢献部門6点の推薦がありました。

### (2) 選考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

#### ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

平成27年8月7日（金）、全日埼玉会館5階会議室において、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

#### イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

平成27年8月25日（火）、埼玉会館4A会議室において、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、農業ベンチャー部門及び地域貢献部門の大賞並びに優秀賞の選考を実施しました。

#### 埼玉農業大賞選考委員会

役職	氏名	役職
委員長	井上 清	一般社団法人全国農業改良普及支援協会顧問
副委員長	永島 朗	埼玉県農業協同組合中央会常務理事
委員	伊藤 博道	中小企業診断士
委員	原 珠里	東京農業大学国際食料情報学部教授
委員	新井 重雄	茶業・会社役員

### (3) 選考結果

推薦されました事例はいずれも革新的な農業経営に取り組み、また、地域農業の振興や活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人、地域貢献部門の大賞として1団体、優秀賞として2団体と1法人を第6回埼玉農業大賞受賞者といたしました。

### 3 埼玉農業大賞受賞者

#### (1) 農業ベンチャー部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>ゆうげんがいしゃ</small> 有限会社 <small>しき</small> 志木フラワー（志木市）
優 秀 賞	<small>ゆうげんがいしゃ</small> 有限会社 <small>おおの のうじょう</small> 大野農場（川越市）

#### (2) 地域貢献部門

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>よこぜ まちちやぎょうくみあい</small> 横瀬町茶業組合（横瀬町）
優 秀 賞	<small>はな</small> 花のプリンス倶楽部（深谷市）
	<small>のうじくみあいほうじん</small> 農事組合法人 <small>しゅうらくえいのうおおくし</small> 集楽営農大串（吉見町）
	<small>かみさとまち かじゅさいばいしゅつ かくみあいれんごうかい</small> 上里町果樹栽培出荷組合連合会（上里町）

# **4 埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門 受賞者紹介**





ゆうげんがいしゃ し き  
**有限会社 志木フラワー**

1 経営概要

- (1) 所在地 志木市下宗岡
- (2) 代表者名 代表取締役 <sup>かねこ</sup>金子 <sup>ただし</sup>正
- (3) 経営内容 カラー20万鉢、チューリップ6万鉢、  
ヒアシンス15万鉢、カラジューム7万鉢、  
その他12万鉢

2 受賞理由

- (1) 都市化の著しい地域において、施設の栽培回転を高めることで収益拡大を実現している。
- (2) 新種苗やオリジナル商品の開発も手がけ、優れた技術や高度な知識を軸に、革新的な経営を展開している。
- (3) 埼玉県農業大学校や県外の研修生を受け入れ、県内外の花卉生産の後継者育成にも大きく貢献している。



(有)志木フラワーで開催したブルメリアフェスティバル  
(2014年)

右から3番目が代表取締役の金子正氏、  
左から4番目が専務の金子直哉氏



四季を彩る志木フラワーの草花

## 農業ベンチャー部門優秀賞

ゆうげんがいしゃ      おおののうじょう  
**有限会社      大野農場**

### 1 経営概要

- (1) 所在地      川越市谷中
- (2) 代表者      代表取締役 おおの 大野 けんじ 賢司
- (3) 経営内容      母豚100頭、黒豚900頭、白豚600頭  
豚舎2,253㎡、食肉加工販売施設90㎡、  
レストラン165㎡

### 2 受賞理由

- (1) 養豚と食肉加工販売、またレストラン経営を行い、都市地域におけるモデル的な畜産経営を確立している。
- (2) 都市化という畜産業の逆境を地元のファン獲得というチャンスに変えるため、県内でも6次産業化にいち早く取り組み、また、地元川越の特産品PRにも寄与している。



有限会社大野農場の皆さん  
(左から2番目が代表取締役の大野賢司氏)



ソーセージ等いろいろな加工品

# **5 埼玉農業大賞 地域貢献部門 受賞者紹介**



## 地域貢献部門大賞

### よこぜ まちちやぎょうくみあい 横瀬町茶業組合

#### 1 経営概要

- (1) 所在地 横瀬町芦ヶ久保  
(2) 代表者名 組合長 <sup>あかいわ</sup>赤岩 <sup>まさお</sup>正夫

#### 2 受賞理由

- (1) 組合員に加え、周辺の市町村からも茶葉の加工受託を行い、その受託量は年々増加しており、秩父地域の茶業維持に大きく貢献している。
- (2) 従来加工していなかった二番茶を用いた紅茶製造に取り組み、組合員の経営向上を図っている。
- (3) また、新たな担い手を育成するため、茶園のオーナーを募り、現在8名のオーナーが茶の栽培・製茶加工に携わっている。



横瀬町茶業組合役員の皆さん  
(前列左から1番目が組合長の赤岩正夫氏)



斜面地に広がる茶畑での摘採作業（二番茶芽）



## 地域貢献部門優秀賞

# はな くらぶ 花のプリンス倶楽部

## 1 経営概要

(1) 所在地 深谷市大谷

(2) 代表者名 会長 よこかわ 横川 たくや 琢也

## 2 受賞理由

(1) 「子どもたちに生産者の想いを直接伝えられ、また、親子での花き消費拡大にもつながる」と平成20年から花育活動に取り組む。

(2) 現在では、深谷市の情操教育のプログラムとして位置づけられ、平成26年度は、幼稚園・小中学校11校で719人を対象に花育活動を実施している。

(3) この活動により花育が地域に波及、定着し、「花のまち深谷」をPRする活動として地域の農業振興に貢献している。



花のプリンス倶楽部の皆さん  
(前列左から2番目が会長が横川琢也氏、  
前列左から3人目が副会長が松本恭平氏)



深谷市立常盤小学校で  
指導する倶楽部員

## 地域貢献部門優秀賞

のう じ く み あ い ほう じん  
**農事組合法人**

しゅうらくえいのうおおくし  
**集楽営農大串**

### 1 経営概要

- (1) 所在地 吉見町大串
- (2) 代表者名 理事長 かね こ とし き 金子 利樹
- (3) 構成員 73人

### 2 受賞理由

- (1) 役員6名を中心に集落の73名で構成。
- (2) ブロックローテーションにより小麦と大豆栽培の生産性を向上させ、地域の水稲も受託し、地域の営農集団として活躍している。
- (3) 農地のほか、農道、用排水路などの地域資源の共同管理も行い、環境の保全・向上を図っている。



農事組合法人集楽営農大串の皆さん  
(右から3番目が理事長の金子利樹氏)



小麦の収穫作業



## 地域貢献部門優秀賞

かみさとまち かじゅさいばいしゅっ かくみあいれんごうかい  
**上里町果樹栽培出荷組合連合会**

### 1 経営概要

- (1) 所在地 上里町帯刀
- (2) 代表者名 会長 あおき 青木 たけし 猛
- (3) 構成員 36人

### 2 受賞理由

- (1) 梨園の縮小、会員の減少が生じる中、平成23年に「梨サポーター制度」を発足。「梨サポーター」の育成に取り組んでいる。
- (2) 生産者は管理作業等で「梨サポーター」を活用し、梨園の維持が可能となっている。
- (3) 梨サポーターの中には、就農するものも現れるなど、担い手育成の場としても機能している。



会長の青木猛氏（左）、川田貴之氏（右）



梨サポーター研修の様子







人の数だけ「よい食」があるんだね。



新鮮でおいしいから、  
地元の野菜、  
食べてます。



市民農園で、農業体験。  
育てる楽しみを知りました！



ダイエット中でも、  
三食ちゃんと  
食べてるよ。



自分でつくった  
お弁当を食べて、  
栄養バランスばっちり！



何は無くとも  
やっぱりごはん。  
日本人だからね。

一年生のときから  
給食のこさず、  
食べてるよ。



田舎のおばあちゃんが  
送ってくれる野菜、  
とってもおいしいよ！



# 「よい食」 たいへん できました



旬の食材を  
食べて健康！



近所のJAが開く  
料理教室に  
通っています。

日曜日は、  
こどもといっしょに  
料理をする日。



家族で食卓を  
かこめば、会話がはずむし  
ごはんもおいしい！



環境のことも考えて、  
国産を選んでいきます。



休日は家族みんなで、  
ファーマーズマーケットで  
買い物。



ごはんの時は、  
「いただきます」と  
言ってから食べるよ！

よい食とは、おいしい食のこと。よい食とは、楽しい食であること。  
よい食とは、家族の健康を支えるもの。よい食とは、よい暮らしそのもの。

あなたも、自分に「よい食」、家族に「よい食」、  
そして日本の未来に「よい食」をしませんか？

みんなのよい食プロジェクトとは、

体と心を支える食の大切さ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、  
それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産農畜産物と  
日本農業のファンになっていただくという運動です。



美味ちゃん  
©みんなのよい食プロジェクト

## 「日本を、もっと食べよう。」みんなのよい食プロジェクト



# JAグループさいたま



JA埼玉県中央会  
JA全農さいたま

JAバンク埼玉県信連  
JA共済連埼玉

©みんなのよい食プロジェクト